

## 余市岳（1,488.1m）平成26年9月7日（日）

参加者（CL永宮、SL藤木晴、小山内、藤木た、本野、鈴木、谷、今野、山下、笹山）

6:30 伊達道の駅→8:40 キロロP場 永宮、山下合流

8:50 林道出発、登山口まで3,9k。

10:10 登山口着、頂上目指して、いざ！出発。

10:30 渡渉→11:00 緩やかな登りの中に初めての急登。

12:00 分岐着、かなりの雨、雨具着用。

12:15 これから一旦下り、登り返し頂上へ、怪しい雲行き、滑りやすい登山道、このまま進むか？リーダー会議。雨、やや小降りに、先に昼食をとり、今後の天候を見極める事に決定。

12:45 雨は止み“頂上を目指す”と決定。出発。

今まで誰一人として遭遇しなかったのに、突然降って湧いたように20人余りの下山者あり。人と会わない山歩きはやはり寂しい。「何方から？」  
「千葉からです。」ゴンドラから分岐経由のツアー登山かな？簡単な挨拶も快い。

13:45 頂上着、視界不良。

14:00 計画より2時間ほど遅延、早々に下山。

15:00 分岐着、天候急変、霰のような大粒雨、雨具着用、正しくこの場所が今回の登山の分岐点。

16:10 登山口着、まだまだ残る長〜〜い林道。

17:00 林道ゲート、P場、陽も傾き、家路が恋しくてか？素晴らしく早足で林道をクリア。

17:15 永宮、山下さんと別れ、伊達登別室蘭班、帰路へ。



花の季節はとうに過ぎ去り、秋には少し早く、実りはまだまだ。

それでも、リーダー会議での的確な状況判断で、天候の急変を上手く凌ぎ、頂上へ立てたことはとても良かったです。長〜〜い林道では、行きも帰りも同じシマリス（なぜ分かるかって？同じ顔だったからです。）が見送ってくれましたし。

リーダー、天候や時間など気をもまれたでしょう。車の運転、長距離を有難うございました。

記録 笹山

